

# L型擁壁(宅地造成用)設計条件

## 設計条件

### 設計荷重

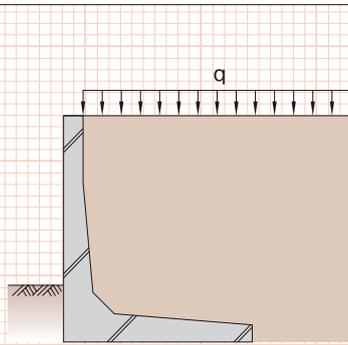
荷重(外力)の組合せは下記について検討します。

常時荷重(長期) …… 常時土圧 + 自重 + 上載荷重

地震時荷重(短期) …… 地震時土圧 + 自重 + 上載荷重 + 擁壁・裏込土水平慣性力

フェンス荷重(短期) …… 常時土圧 + 自重 + 上載荷重 + フェンス荷重 (FP=1kN/m)

※上載荷重 …… q=10kN/m<sup>2</sup>



(1)土質試験により実況を確認する場合

- 土の単位体積重量  $\gamma=18\text{kN/m}^3$
- 土のせん断抵抗角  $\phi=25^\circ, 30^\circ, 35^\circ, 40^\circ, 45^\circ$
- 摩擦係数  $\mu=\tan\phi$

(2)土質試験により実況を確認しない場合(砂利又は砂の場合)

- 土の単位体積重量  $\gamma=18\text{kN/m}^3$
- 土圧係数  $KA=0.35$
- 摩擦係数  $\mu=0.5$

### 安定条件

(f:安全率)

項目	長期	短期
転倒に対する検討	$f \geq 1.5$	$f \geq 1.0$
滑動に対する検討	$f \geq 1.5$	$f \geq 1.0$
支持力に対する検討	必要地耐力以上	—

### 許容応力度

(N/mm<sup>2</sup>)

項目	長期	短期
コンクリートの許容圧縮応力度	1.0	20
コンクリートの許容せん断応力度	0.8	1.2
鉄筋の許容引張応力度 (SD295A)	200	300
鉄筋の降伏点 (SD295A)	295	—